

2023

6

No.330

「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

ふくし“きらり人。”
任命しました！



ふくし“きらり人。” 坂本 響子 さん

この度の2023年台風第2号大雨災害で被災された皆様にお見舞い申し上げます。

Contents

2 3 ありがとうございます報告

4 5 地域福祉活動レポート
常陽ボランティア倶楽部

6 7 ふくし“きらり人。”
サテライトさわの森
坂本 響子さん

8 福祉のお仕事に興味のある方は
茨城県福祉人材センターへ

9 社会福祉事業従事者研修のご案内
介護職員初任者研修受講費用の
一部助成のご案内

資格を活かした再就職等に貸付金
をご利用ください！

10 福祉のお仕事就職相談会“夏”
開催！！

11 インフォメーション

12 わかち合おうみんなの善意



はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。

この広報誌は一部赤い羽根共同募金の配分を受けています。

ふれあいネットワーク
社会福祉 茨城県社会福祉協議会

ありがとうございます報告

皆様からいただきました寄付・寄贈の内容、払い出し先等につきましては、毎号本紙の「わかし合おうみんなの善意」のコーナーでご報告をさせていただいております。

県社協では、現在、大きく4つの寄付の受け入れがあります。1つめが「交通遺児への寄付（交通遺児福祉基金）」、2つめが「ボランティア活動への寄付（ボランティア基金）」、3つめが「県社協が実施する福祉事業への寄付（善意金）」、そして4つめが「その他の寄付」です。今回は、これらの4つの寄付が、どのように茨城県内の福祉活動に活用されているかをご紹介します！

【交通遺児への寄付（交通遺児福祉基金）】

●交通遺児福祉基金とは？

交通事故により保護者を亡くされた交通遺児の方への支援を目的に設立した基金です。この基金は、茨城県内にお住いの交通遺児の方々の新たな生活準備等に役立てられています。

令和4年度は小中学校卒業生 19 名、高等学校卒業生 6 名の方に贈呈させていただきました。

・活用内容・

- ①小学校、中学校を卒業予定の児童・生徒に対して就学のための奨励金
- ②高等学校卒業生等への、新生活のための激励金
- ③交通遺児友の会会員コンテスト出展者への記念品（図書カード）の贈呈（自動車事故対策機構（ナスバ）との協働）

【ボランティア活動への寄付（ボランティア基金）】

●ボランティア基金とは？

県内におけるボランティア活動や地域福祉活動の推進を目的に設置した基金です。基金をもとに、市町村社協向けに「茨城県市町村社協ボランティア・市民活動促進事業費助成金」、ボランティアグループ・NPO 法人向けには「茨城県ボランティア・市民活動推進事業費助成金」により、それぞれの活動を支援しています。

このような活動に助成しています！

★ボランティアグループ・NPO 法人向けでは…

- ・子どもの孤立を防ぎ、地域とのつながりを作る学習支援事業
- ・シルバーリハビリ体操を活用した包括的地域リハビリテーションの展開事業

★市町村社協では…

- ・青少年ボランティア育成事業
- ・災害ボランティアセンター運営訓練研修会の開催



【県社協が実施する福祉事業への寄付（善意金）】

県社協が実施している地域福祉事業に活用されます。県社協が行っている地域福祉事業は、子どもたちを主な対象とした福祉教育をはじめ、ボランティア活動や市民活動の育成・支援、地域における交流の場やつながりづくりの支援などを行っています。

●はんどちゃんネットワーク運動（はんどちゃんネットワーク運動サロン活動応援助成金）

住民同士の交流や地域のつながりづくりの場となるサロンや、地域における災害時の取組や子どもの育成など地域の福祉課題に取り組むサロンへの活動助成を行っています。

このような活動に助成しています！

- ・障害のある方やその家族、地域住民を対象としたサロン
- ・明るい家庭作りに貢献する目的で設立された子ども食堂

サロン活動の様子**●住民生活応援事業**

市町村社協が実施している、経済的に困難を抱える方への支援や、社会的孤立の解消に対して取り組んでいる多様な支援活動を応援することを目的に、活用しています。

このような活動に助成しています！

- ・経済的に困窮している方への食料支援や日用品の配付
- ・ひとり親世帯への食の支援事業
- ・高齢者の孤立予防や災害時等における地域の見守り体制の構築
- ・経済的援助が必要な世帯で、小中学校に入学する子どもを対象に学用品の購入費助成

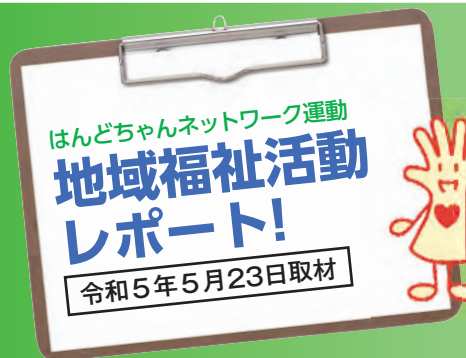
【その他の寄付】

上記の3つの目的以外で寄付や寄贈をいただいた際には、寄付・寄贈をしていただいた方のお気持ちに添えるよう、職員がお話を伺い、寄付・寄贈先（福祉施設や社会福祉団体、市町村社協等）を選定し配分しています。

このように皆様から頂きました寄付や寄贈は、茨城県内の地域福祉活動やボランティア活動に活用させていただいております。地域が抱える課題は多岐にわたっており、新型コロナウイルスによる影響により、その課題はさらに複雑・深刻化しています。課題解決のためには、行政だけではなく、様々な視点で地域の実情に合わせた支援や活動を行っていくことがとても大切です。しかし、活動を継続し行っていくためには、人的支援はもちろんのこと、社会的資源や活動を支えていくための資金が必要不可欠です。

これからも、県内の地域福祉活動やボランティア活動を行っている団体の方々につながるよう、みなさまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

『その支援、その募金が、だれかの明日の安心につながっている』



常陽ボランティア倶楽部

部長 萱津拓也さん

常陽銀行コンサルティング営業部
担当部長兼公務室長

事務局 太田裕之さん

常陽銀行人事部 人事相談室参事役



「活動のテーマは 地域とともに」

自発的ボランティア活動を 企業が支援

常陽ボランティア倶楽部の発足は1994年10月1日、今年で創立28年を迎えます。常陽銀行行員・グループ会社の社員を対象に、自主性を尊重した形でのボランティア活動の場と機会を提供することが活動の基本方針です。「ボランティアをする意識があっても、どこにアクセスするとどんな活動ができるのかわからないとか、気持ちはあっても自分で一歩踏み出すことができないという行員等に、地域でお世話になっている企業として活動の場をつくり、積極的な参加を促すために設立された組織です」と部長の萱津さんは話します。参加は任意ですが、会員数は2023年4月末現在で3,325名に及び、県内はじめ各地の支店ごとに地域に密着した活動を行っています。



▲常陽ボランティア倶楽部 事務局の太田さん

の運営支援、環境問題では森林保護活動・クリーン作戦、国際交流ではコロナ禍で中止となっていますが留学生との交流会・国際イベントの協力、地域イベント協力ではイベントの運営支援等、基金協力では災害募金・歳末助け合い運動・県社会福祉協議会を通しての福祉施設への寄贈などを行ってきました。

さらに災害時には、災害ボランティアを派遣しています。「2019年の東日本豪雨の際には、本店を中心にボランティアを募って被災地5か所で活動をし、浸水家屋や道路の泥運びなどを手伝いました。平日でしたので、会社に協力してもらい特別休暇にして、延べ80名が何日かに分けて活動しました」と事務局の太田さん。

「通常は土日を利用しての活動で、各地で開催されるマラソン大会の運営協力や那珂川など河川のクリーン作戦でのゴミ拾い、土浦市の花火大会の翌日の清掃活動などに参加しています。また、毎年、土浦市の障害者スポーツ大会へボランティアスタッフとして参加しており、車椅子での移動補助や、案内・誘導などのお手伝いをしています」と萱津さん。森林保護活動としては、那珂市に常陽の森があり、春には植林をし、冬には枯れ草刈りをしているとのこと。

活動で多いのは地域のイベントにスタッフと



▲常陽ボランティア倶楽部 部長の萱津さん

地域に密着した6分野で 活動を展開

活動分野は6分野あり、福祉関連では福祉イベント・身体障害者スポーツ大会への参加、スポーツ交流ではマラソン大会などスポーツ大会



▲本会への寄贈の様子（車イス）



▲本会への寄贈の様子（ポータブル電源及びソーラーパネル）

して参加することで、「こういう活動がこの地域にあるとか、こういう場所がこの地域にあるとか、こういう方が暮らすまちだとか、地域のことを知ることができるのもボランティア活動の成果となっています。活動に参加することで、地域の方から感謝の言葉をいただけることもモチベーションに繋がります」と萱津さんは話し、地域とともに歩む企業ならではの活動となっています。

これらの活動が評価され、2007年に明日の日本を創る協会（総務省内閣府所管）より「振興奨励賞」（企業の地域社会貢献部門）表彰、2010年に茨城県社会福祉協議会より「県社会福祉協議会会長賞」受賞、2012年に茨城県より「東日本大震災義援金の寄贈」感謝状授与、2016年

に熊本県知事より「熊本地震災害義援金の寄贈」感謝状授与、2020年に茨城県より「医療従事者への応援募金」「高濃度アルコールの寄贈」に対する感謝状授与、2021年に第82回水戸市社会福祉大会において「表彰状（寄贈の部）」授与など、数々の表彰を受けています。

地域のための活動を 今後もバックアップ

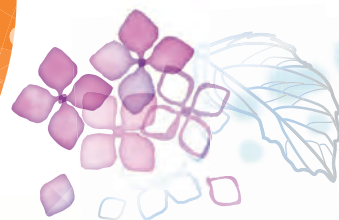
今後の目標としては、「地域の要請に対し、各地域の支店のボランティアが中心となって今後も活動していきます。コロナ禍で留学生のバスツアーなど中止になっていたイベントも、5類に移行したことで再開できるようになるかもしれませんし、地域の活動もコロナ前に戻りつつあるのでイベントも増え、我々への期待も戻ってくると思うので、その期待に応えられるように会員の活動をバックアップしていきます。また、再来年は当倶楽部発足から30周年になるので、地域に恩返しができるような企画を考えています」と萱津さん。

「できることに限りはあるが、地域のご要望があれば前向きに対応させていただきたいと思っています。これからも、企業として、ボランティア倶楽部として、地域社会に貢献していきます」と力強いメッセージをいただきました。



▲お2人とも、ありがとうございました！

ふくしまっぴい人。



さかもと きょうこ
坂本 響子さん

社会福祉法人森田記念会
サテライトさわの森 アートセラピスト



サテライトさわの森は、地域密着型老人福祉施設で、入居者やショートステイ利用者の生活介護を行なっています。坂本響子さんは、アートセラピストとして勤務し4年目になります。アートの専門職としてのここでの仕事は、陶芸教室、手づくり教室、絵手紙教室を月に一回行い、さらに大型の布貼り絵や個人制作のサポートをすることです。「入居者さんやショートステイ利用者さんが、少しでも楽しみを見出せるようにお手伝いしています。」とのこと。コロナ禍で外出の機会が減った際には、施設内で取り組める作品づくりは、利用者の大きな楽しみとなっていました。

きっかけは、陶芸教室のボランティアから

女子美術大学工芸科陶芸コースで学んだ坂本さんは、学生時代は福祉とは全く関わりがなかった

そうです。「卒業後に笠間で陶芸の仕事をしていた時に、この施設に勤務していたアートセラピストの先輩に声をかけていただき、陶芸教室をお手伝いしたことが仕事を始めたきっかけです。それまでは福祉の世界に触れたことがなかったのですが、アートを通して高齢者の方々が笑顔になる様子を見て、福祉とアートの関わりに興味を持ちました。」と振り返ります。

坂本さんは正社員として就職し、同施設で3人目のアートセラピストになりました。仕事を始めて感じたことは、「それまでは自分一人で作品をつくっていましたが、この仕事に就いて、人に教えることは楽しい、人と一緒につくることは楽しいと気づきました。福祉の現場にアートが必要とされていることがすごく嬉しかった。」と話します。アートと福祉とを結ぶ先駆けとなっている坂本さ

アートで高齢者の方たちを笑顔にしたい。

んは、「福祉とアートがもっと盛んに交流していくと、福祉業界にも新しい風が吹いて良い影響が出ると思います。アートも高齢者や老人ホームと関わる機会がありませんので、その接点をもっと増やしていくと、美術大学の学生の就職先としても可能性が広がると感じています。」とのこと。

アートの良い効果が見えた時にやりがいを感じる

4年目となった現在、「最初のがむしゃらにやってきましたが、最近やっと自分に何が求められているのかがわかってきて、一人ひとりの個性やどう生きてきたかを知ることが大事なのだと思います。」と言います。昔編み物をしていた方には「ちょっとやってみませんか？」と声をかけると、そこからどんどん作品が生まれていくそうです。「認知症のある方、片麻痺の方は、つくることをあきらめている方もいます。自分は大めだという気持ちになっているのですが、小さいものから始めるとだんだん思い出してきて、どんどんできるようになります。やる気をなくしていた方が素晴らしい作品をつくれるようになるということは、本人にとって喜びだし、家族もスタッフもその変化に驚きます。そういう良い効果が見えた時が、私のやりがいになっています。」と、話してくれました。現在、制作に取り組んでいるのは名画を題材にした貼り絵の作品です。昨年は、県福祉会館のギャラリーで3年間で制作した大型貼り絵などの作品を展示しました。「全員で見に行って、皆さんとても感動していました。認知症の方もそれを覚えていて、今でも話してくれることが嬉しいです。今後の目標は、施設を美術館にしていこうこと。外に出なくてもここで美術が感じられるようにして、皆さんが持つアーティストの芽を育てていきたいです。」と話してくれました。



美術が得意な人が活躍できる場、必要とされている場

アートセラピストの仕事は、「美術が得意、絵を描くのが好きな人が活躍できる場であり、必要とされる場」と言う坂本さん。どんな人に向いているかとたずねると、「利用者さんと一緒に何かしてくれる人に向いています。アートと福祉の接点に気づかない人も多いと思いますが、今回の取材がきっかけとなって知ってもらえればいいし、大学でもこういう仕事があると伝えていけるといいですね。」とのこと。「施設でも、アートの効果をもっとわかってもらえるようにしていきたい。あまりアートセラピストのいる施設はないので、もっと広まって欲しいです。一施設に一人のアートセラピストがいたら、楽しい時間が持てるだろうと思います。」と熱い思いを持つきりり人です。



▲利用者の皆さんが制作した作品

福祉のお仕事に興味のある方は茨城県福祉人材センターへ

茨城県福祉人材センターは、県の指定を受けて設置され、福祉のお仕事をする方を応援しています。福祉の仕事（介護・保育など）を希望されている方と人材を求める社会福祉施設、事業所等への架け橋となるとともに、福祉についての情報提供や就職のあっせんを無料で行っています。

無資格未経験でも紹介できる仕事があります。福祉の仕事が初めての方でも、キャリア支援専門員が、ていねいに支援いたします。

また、職場見学や職場体験も実施しています。福祉の仕事に興味のある方は、ぜひ茨城県福祉人材センターにお気軽にご相談ください。

相談する

**受付
時間**

午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00

（土・日・祝日及び12/29～1/3を除く）

1. オンライン相談

●相談時間 / 40 分間

●時 間 帯 / 相談時間は次の時間帯からお選びください。

10:00～10:40	11:00～11:40	13:00～13:40
14:00～14:40	15:00～15:40	

●申込方法 / 本会ホームページ（右記 QR コード）にログイン後、申込フォームに必要事項を入力し、予約をお願いします。



▲オンライン相談申込 QR コード

2. 電話相談

●電話番号 / 029-244-4544

3. 来所

●場所 / 茨城県福祉人材センター
茨城県水戸市千波町 1918
セキショウ・ウェルビー
イング福祉会館 2 階

WEBで求人検索をする

「福祉のお仕事」ホームページ（下記 QR コード）で求職登録や、求人情報の検索ができます。

登録いただいた方には、希望にあった求人情報をご提供します。登録、利用は無料です。



「福祉のお仕事」ホームページ



▲「福祉のお仕事」QR コード

職場を見学する・職場体験をする

福祉・介護の仕事に関心がある方を対象に、福祉・介護の仕事の魅力と実際の現場を知るための職場見学や、職場体験を実施しています。

関心があっても、「福祉の仕事のイメージがない」「福祉の仕事って難しそう」と思っている方。福祉の仕事に触れる第一歩として、まず見学や体験をすることをお勧めします。休みの日等のお時間を使って、見学や体験をしてみてください。

■受付期間

令和5年6月12日～令和6年2月10日

■対象者

中学生以上の方 ※福祉に関する資格や経験は問いません。

■見学場所・体験場所

茨城県内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設 等

■申込方法

本会ホームページで内容をご確認のうえ、申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、申込書に記載されている FAX またはメールでお申込みください。



問 茨城県福祉人材センター 029-244-4544

広告

茨城県社会福祉法人経営者協議会入会のご案内

茨城県社会福祉法人経営者協議会は、県内における社会福祉施設の経営主体である社会福祉法人等の相互啓発と連絡協調を図り、社会福祉法人等の健全な発達と社会福祉事業の発展に寄与することを目的とする団体です。

詳細につきましては、ホームページでご案内しております。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

〒310-0851 水戸市千波町 1918 問 TEL: 029-350-8585 FAX: 029-241-1434
ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp/keieikyo/>



社会福祉事業従事者研修のご案内

茨城県内の社会福祉施設・事業所等に従事する役職員の更なる資質向上を図るため、職種別・階層別にさまざまな研修を実施しています。

組織として、職員の定着の観点からも、研修計画を立てて取り組みましょう。

研修システムページに、今年度の研修体系表及び月別予定表を掲載しており、今年度は44本の研修を開催予定ですので、ぜひご利用下さい。

◎令和5年7月～9月開催の研修

7月	18日	広報誌の作り方研修	集合型
	20日	コーチング研修A	ライブ配信
	26～27日	ファシリテーション研修	集合又はライブ配信
9月	7日	メンタルヘルス研修(管理者向け)	ライブ配信
	14日	ケア従事者のための元気の心理学研修	集合又はライブ配信

8月	3日	業務改善力向上研修	ライブ配信
	8日	アンガーマネジメント研修A	集合又はライブ配信
	24日	BCP研修A	集合又はライブ配信

詳細は、「茨城県社協研修システム」ページ(右記QRコード)をご覧ください。



◀研修システムQRコード

※研修により、申込期限や定員の設定があります。

※感染症や災害等の影響により、研修を中止・延期、もしくは実施方法を変更する場合があります。

問 福祉人材・研修部 TEL:029-244-3755

介護職員初任者研修受講費用の一部助成のご案内

介護職員としてこれから働く方、もしくはすでに事業所等に就職しながら介護職員初任者研修を修了した介護職員に対し、受講費用の一部を助成します。

助成額
最大
9万円

募集期間
令和5年5月15日
～
令和6年3月15日

Q:どんな人が対象なの? A:対象は以下の方です。

- ①介護職員初任者研修を修了後、県内の高齢者施設・事業所に就職した方
- ②県内の高齢者施設・事業所に就職後、介護職員初任者研修を修了した方

※その他、研修修了時期や就職時期等に条件があります。

詳しくは本会ホームページ(右記QRコード)にアクセスするか、茨城県福祉人材センターにお問い合わせください。



**問 茨城県福祉人材センター
TEL:029-244-4544**

資格を活かした再就職等に貸付金をご利用ください!

介護や保育の資格をお持ちの方が、介護事業所や保育所などに再就職等するための資金を貸し付けています。継続して2年間業務に従事すると返還が免除されます。

<介護職の方向け>

○離職介護人材再就職準備金貸付金

介護職の実務経験があり、再就職する方が対象です。

貸付金額 上限40万円

<保育士の方向け>

○潜在保育士就職準備金貸付金

保育所等に再就職、又は新たに就職する方が対象です。

貸付金額 上限40万円

○未就学児保育料一部貸付金

未就学児がいて、新たに保育士として勤務する方

又は、産休育休から復帰した方が対象です。

貸付金額 保育料の半額を1年以内(月額上限有り)

※詳しくはホームページをご覧ください。

**問 福祉人材・研修部(人材自立育成担当)
TEL:029-350-8366**

広告

茨城県民間社会福祉事業従事者互助会加入のご案内

茨城県民間社会福祉事業従事者互助会は、県内の主に社会福祉法人が経営する福祉施設及び福祉団体に勤務している職員を対象に、福利厚生を目的とした、慶弔関係給付金の給付及び資金の貸付事業を行っております。

詳細につきましては、茨城県社会福祉協議会のホームページでご案内しておりますが、ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問合せください。

問 TEL:029-241-3966 FAX:029-241-1434



福祉のお仕事就職相談会“夏”開催！！

福祉の仕事をお探しの方や興味・関心のある方、就職活動中の学生の皆様は、多くの法人・事業所から職場の雰囲気や具体的な仕事内容、採用条件等を詳しく聞くことができる機会です。

茨城県福祉人材センターや県内就職支援を実施している企業の相談ブース等も設けていますので、福祉のことを全く知らないという方も、是非相談にお越しください。

**開催
日時**



▲参加法人一覧や
申込はコチラ

水戸
7/2
(日)
ホテル
レイクビュー水戸

土浦
7/15
(土)
ホテル
マロウド筑波

県内各 42 法人が参加 !!

問 茨城県福祉人材センター
TEL : 029-244-4544

福祉のお仕事就職相談会“夏”のココがすごい！～5つの！Point！～

**幅広い法人に
出会う！**

一度にたくさんの法人を知ることができるので、働きたいと思う法人にきっと出会えます。

**職場のリアルを
聞ける！**

職場の疑問を解消する絶好の機会です。話を聞くことで職場のイメージが具体的に描けます。

**就職相談も
できる！**

これからのキャリアプラン等を相談して、少しずつ将来の方向性を定めましょう。

**各養成校の
資料がある！**

県内の介護職員初任者研修及び実務者研修実施機関のパンフレットをご用意しています。

**求職活動の
実績になる！**

雇用保険受給中の方で、各ブースで相談した方には『求職相談活動等参加証明書』を発行します。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和5年度

ボランティア活動保険

商品/パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(*)		初日から補償
地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
	年間保険料		350円	500円	550円

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重 要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30～17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

INFORMATION

お知らせ

ハローワークで出張相談会を行います！

茨城県福祉人材センターでは、ハローワーク水戸とハローワーク土浦に協力いただき、月に1度出張相談会を行います。

福祉のお仕事に関する相談に専門の相談員が対応いたします。どなたでもご参加いただけるので、是非お気軽にご相談ください。

ご相談には、事前に申込が必要です。会場となるハローワークに電話で予約してください。

会場・日程（7月～9月開催分）**●ハローワーク水戸**

TEL：029-231-6221
（部門コード41#）

日程		
7月27日 (木)	8月24日 (木)	9月28日 (木)

●ハローワーク土浦

TEL：029-822-5124
（内線41#）

日程		
7月18日 (火)	8月22日 (火)	9月19日 (火)

相談時間（共通）

おひとりあたりの相談時間の目安は45分です。
予約の際に、下記の①～③の枠の中から、ご希望の時間をお伝えください。
※各枠先着順となります。

①13:00～13:45

②13:45～14:30

③14:30～15:15

皆様のご参加をお待ちしています。

図 茨城県福祉人材センター
TEL：029-244-4544

募集

ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵を募集しています。

■テーマ

祖父母や曾祖父母、近所のお年寄りなどの高齢者が、いきいきと活動している姿や子どもたちなどと交流している姿で、温かみを感じられるもの。

■応募期間

令和5年7月10日（月）～9月29日（金）

■応募資格

県内小学校、義務教育学校（前期課程）及び特別支援学校小学部の児童



「ぎょうざづくり」大島令子（小学1年生）

図 茨城わくわくセンター
TEL：029-243-8989

募集

「茨城シニアマスター」として活躍しませんか？

県社協では、豊富な知識や技術を持つ概ね60歳以上の方を「茨城シニアマスター」として登録し、地域団体からの依頼を受けて学校や福祉施設等の催し物に派遣し、ご活躍いただいています。

皆さんも「茨城シニアマスター」に登録して、長年培った経験等を地域に還元し、社会参加してみませんか？

詳しくは、下記までお問い合わせください。



マジックの公演



万華鏡作り説明

図 茨城わくわくセンター
TEL：029-243-8989

募集

令和5年度茨城県災害ボランティア登録を開始しました！

「茨城県災害ボランティア登録」は、災害時に災害ボランティア活動をしていただける方や、災害ボランティア活動に興味がある方に登録をしていただき、災害時だけでなく平時においても、災害ボランティア活動に関する様々な情報をメールにて配信するものです。

1 災害ボランティア登録の方法

特設サイト「災ボラ STAND BY（スタンバイ）」から、災害ボランティアの登録フォームにアクセスし、オンライン登録を行います。

※「災ボラ STANDBY」
QRコードはこちら▶

**2 災害ボランティア登録の有効期間**

令和6年3月31日まで（年度単位の登録になります。）

※「個人登録」と「団体登録」があります。

図 福祉のまちづくり推進部

TEL：029-243-3805

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響で生活福祉資金特例貸付を利用されている方へ。

令和4年度に生活福祉資金特例貸付の決定を受けた方のうち、借受人本人及び借受人が属する世帯の世帯主いずれもが令和5年度の住民税（均等割・所得割、両方とも）が非課税の場合、償還（返済）免除の申請を行うことができます。

また、償還（返済）期間中に予定どおりの償還（返済）が難しい方は、状況をお伺いいたしますので、早めにお住いの市町村社会福祉協議会にご相談ください。

図 生活支援部

特例貸付コールセンター
TEL：029-297-6526

わかち合おうみんなの善意<令和5年1月～令和5年3月善意金等の預託と払い出し状況>(敬称略)

善意金

預託者名	金額(円)
野木 利三郎	40,000
茨城新聞文化福祉事業団	1,000,000
茨城三田会 早稲田大学校友会茨城県支部	100,000
いばらきコープ生活協同組合	3,000,000
茨城県 PTA 連絡協議会	180,000
合計	4,320,000

交通遺児福祉基金

預託者名	金額(円)
(公社) 生命保険ファイナンシャル アドバイザー協会茨城県協会	100,000
J S A 中核会茨城支部	198,100
損害保険ジャパン(株) 茨城支店	19,810
(株) 明送	100,000
茨城県 P T A 連絡協議会	120,000
合計	537,910

善意品

預託者名	善意品	払出先名
(一社) 生命保険協会 茨城県協会	軽自動車(福祉巡回車) 3台	つくば市、小美玉市、 八千代町の各社会福祉協議会
いばらきコープ生活協同組合	粉ミルク 44缶、大人用紙おむつ 332個 子ども用紙おむつ 132個 ベビーフード 46個	茨城町社会福祉協議会 県内社会福祉施設

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名		
水戸市生活環境部清掃事務所	鈴木健司税理士事務所	(株) かんぽ生命 茨城支店
岸 道子	矢島 めぐみ	焼肉レストラン 風林
田原 純子	山口 英信	(株) 明送
(公社) 茨城県農林振興公社	常陽ボランティア倶楽部	茨城県教育研修センター
茨城県平和大使協議会	茨城いのちの電話	アズビル(株) ビルシステム カンパニー茨城支店
茨城県信用保証協会	常陸太田郵便局窓口営業部	大和ハウス工業(株) 茨城支社
住友生命保険相互会社 柏常総支社	茨城県腎臓病患者連絡協議会	
茨城県福祉部 長寿福祉課、子ども政策局青少年家庭課		
常総市、ひたちなか市、龍ヶ崎市、桜川市、日立市、牛久市、かすみがうら市、鉾田市、神栖市、土浦市、美浦村、小美玉市、城里町、筑西市、つくばみらい市、常陸太田市、守谷市、石岡市、茨城町、利根町、水戸市、鹿嶋市、八千代町の各社会福祉協議会		



茨城新聞文化福祉事業団
(写真: 茨城新聞社提供)



(一社) 生命保険協会茨城県協会



(公社) 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会
茨城県協会



茨城三田会
早稲田大学校友会茨城県支部



いばらきコープ生活協同組合



J S A 中核会茨城支部
損害保険ジャパン(株)茨城支店



(株) 明送



茨城県 PTA 連絡協議会

令和4年度の各基金の払い出し(配分)状況についてご報告いたします

ボランティア基金

	助成金額
ボランティア団体助成(11団体)	3,920,864円
市町村社協ボランティアセンター助成(29社協)	8,383,661円

交通遺児福祉基金

	金額
小・中学校卒業時就学奨励金(合計19名)	1,350,000円
高等学校卒業業者等奨励金(合計6名)	1,200,000円

善意金

	金額
指定払い出し	9,594,986円

使用済み切手・使用済みカード等寄付の換金結果

使用済み切手等(約3,742,768枚)	換金額 571,320円
使用済みカード等(約22,812枚)	
書き損じはがき(約4,493枚)	

※これらについては、ボランティア・市民活動助成金として活用させていただきます。

いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

発行者／社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL:029-241-1133(代)

FAX:029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>

E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

※本誌が不要な方は恐れ入りますがご連絡ください。送付を停止させていただきます。

なお、ホームページからダウンロードしてご覧いただくこともできます。